



枕崎漁港に悠々と泳ぐかつおのぼり ～地域振興推進事業でかつおのぼり掲揚場を整備

令和2年度地域振興推進事業で整備していたかつおのぼり掲揚場が完成し、11月24日の「いい節の日」に枕崎漁港で掲揚式が開催されました。

今回の掲揚場は、生産量日本一を誇る鰹節や本市の水産物を県内外に広くPRしようと整備したもので、新しく整備された掲揚場には、市内の小・中学校及び高校の児童・生徒がデザインしたオリジナルのかつおのぼりを含む16匹のかつおのぼりが掲揚されました。

当日は枕崎幼稚園の園児も駆けつけ、豆のぼりを振りながら掲揚式を盛り上げました。



写真は提供していただいたものを掲載しています。

先祖代々脈々と引き継がれてきた教育 **投稿** ～投稿者：関東枕崎会事務局長 山崎耕さん

感動する素晴らしい光景に出会ったのは、母校(枕崎高校)での青春講演会のため帰省していた昨年(令和元年)11月1日の昼過ぎのことでした。枕崎駅近くのホテルを出て歩き始めた時のことです。私とすれ違った数人の小学生が、見ず知らずの私に対してしっかり頭を下げてお辞儀をしながら一人一人が「こんにちは」「こんにちは」と挨拶をしてくれました。この光景が、長年東京で暮らす私にとっては、とっっても新鮮で驚くと同時に感動を覚えました。枕崎では人に挨拶することは、至極当然で、当たり前なことなのでしょう。しかし、枕崎では当たり前のことが東京では必ずしも当たり前ではないかも知れません。

人に対してきちんと挨拶ができる…、その裏には、祖母から父母へそして子と孫へと先祖代々脈々と引き継がれてきた素晴らしい人間教育があるのではないのでしょうか。良き古里出身であることに誇りを感じました。



新屋敷幸隆さんが旭日双光章を受章 ～令和2年秋の叙勲

令和2年秋の叙勲が発表され、新屋敷幸隆さん(恵比須町・71歳)が旭日双光章を受章しました。

新屋敷さんは、平成15年に市議会議員に当選以来、4期16年にわたり議員の職を務めました。平成23年からは枕崎市議会副議長として、平成27年からは枕崎市議会議長として市勢の発展と住民福祉の向上のために尽力しました。また、枕崎市消防団中央分団の分団長や枕崎市文化協会の会長を務めるなど、市議会以外の分野でも活躍されました。

新屋敷さんは「市議会議員・議長としてその職務を果たすことができたのは、多くの皆様のご指導、ご鞭撻のたまものと心より感謝申し上げます」と話しました。



今給黎誠さんが瑞宝単光章を受章 ～令和2年秋の叙勲

令和2年秋の叙勲が発表され、今給黎誠さん(岩崎町・70歳)が瑞宝単光章を受章しました。

今給黎さんは昭和44年に鹿児島県庁に入庁し、平成23年に退職するまでの41年間あまり、県の船舶職員として勤務しました。その間、平成13年からは漁業調査船「くろしお」の、平成18年から退職までの期間は漁業取締兼調査船「おおすみ」の船長として、職員の安全と船の安全航行に尽力するとともに、業務を積極的に遂行し、本県の水産業振興に大きく寄与されました。

今給黎さんは「周囲の方や留守を守る家族のおかげでこのような賞をいただくことができました。皆さんに感謝いたします」と話しました。



市内飲食店がコロナ対策をPR ～コロナに負けるなプロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが落ち込む市内の飲食店を応援しようと、枕崎青年会議所が各飲食店の感染症対策をPRする動画を作成し、同会議所のホームページやfacebookで動画を公開しています。

全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各飲食店では検温・消毒の徹底やソーシャルディスタンスを保つための店舗改修など、さまざまな対策に取り組んできました。今回のプロジェクトでは、飲食店だけでなく、飲食店を訪れる市民の皆さんも感染症対策をとりつつ、一緒に市内の飲食店を応援しようという趣旨の下、市内の60店舗以上の飲食店に参加を呼びかけ、各店舗の感染症対策の取り組みなどを紹介しています。



森将嗣さんが空手道7段に昇段 ～令和2年度日本空手道昇段試験

令和2年度の日本空手道昇段試験において、森将嗣さん(火之神町・70歳)が県内でも数人しかいない7段に昇段しました。15歳から空手を始めたという森さんは、6段までの昇段試験にそれぞれ1回で合格してきました。50代の時に病気を患い、約20年の期間を経て7段の昇段試験への挑戦となりましたが、今回も見事1回で合格となりました。また、20代から空手の指導も行い、これまで約2,000人以上の子どもたちに空手を教えてきました。森さんは「これからの国際社会に羽ばたく子どもたちの育成に、日本固有の文化である空手道を生かしていきたい」と話しつつ、10年後の8段の昇段試験に向けても「1回で合格したい」と意気込みを話しました。

旬のお便り **地元生産者応援企画** 枕崎で生産される旬の農産物を紹介します!



金柑(きんかん)

カン科に属している金柑ですが、ミカンとは異なり、一般的に皮ごと食べられています。皮ごと食べるため、柔らかい苦みと甘みを味わうことができ、ビタミンCをたくさん取ることができます。また、柑橘類では珍しく、カルシウムも多く含まれています。

金柑の生産量は宮崎県が第1位で、次いで鹿児島県が第2位となっています。南薩地域では鹿児島県認定ブランド「春姫」が有名です。春姫は寧波きんかん(金柑の代表的な品種)を越冬完熟させてから収穫した糖度16度以上、サイズがLサイズ以上という基準をクリアしたものが春姫として出荷されています。

金柑には免疫向上に良いビタミンやミネラルが多く含まれており、風邪の予防や回復にも効果的です。

おすすめ料理

金柑の甘露煮

金柑を砂糖としょう油で煮込んだ簡単にできる一品です。金柑の持つ苦みや酸味を軽減することができ、煮汁は金柑茶として味わうことができます。

